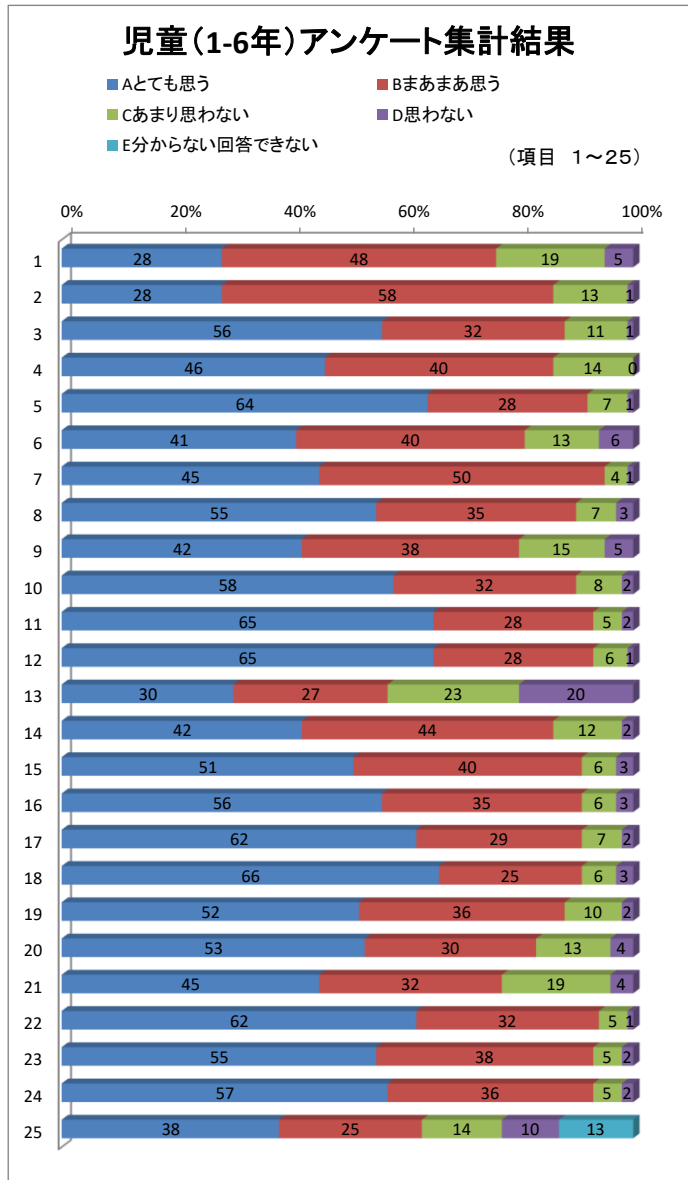


児童(1-6年)アンケート結果の集計ができましたので、合わせて報告させていただきます。

項目	質 問
1	運動場、校地はよく整備されている。
2	校舎内や教室は美しく設営されている。
3	学習や活動に必要な設備が整備され安全に保たれている。
4	地域で子どもたちはよくあいさつをしている。
5	子どもたちは交通ルールをよく守り安全に登下校している。
6	子どもたちの服装や言葉遣いはきちんとしている。
7	学習内容が身に付いている。
8	夏休みや冬休み中、自分で課題を決めて学習している。
9	自主的に家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。
10	子どもたちの様子は生き生きとしている。
11	子どもたちは友達と仲良く生活できている。
12	子どもたちに思いやりの心が育っている。
13	子どもは、家で読書をしている。
14	物事に粘り強く取り組む態度が育っている。
15	学校は、プログラミング教育、英語教育、道徳教育、食育、防災教育など、大切な教育課題に取り組んでいる。
16	学校は、授業に体験的な学習を取り入れている。
17	先生は、子どもをよく理解し指導している。
18	先生は、悩みや相談事に親身になって応じている。
19	学校だよりや学年だより、学校ホームページにはよく目を通している。
20	学校は子どもたちや学校の様子を保護者に伝えている。
21	学校は教育方針や目標を保護者に伝えている。
22	学校は地域のよさを生かした教育活動を行っている。
23	学校での教職員の対応は、親切で話しやすい。
24	学校での電話の対応など、丁寧で分かりやすい。
25	家庭での1週間の勉強時間。 A 3時間未満 B 3~4時間未満 C 4~5時間未満 D 5~7時間未満 E 7時間以上 (土日も学習塾も含む)



A・B(とても思う・まあまあ思う)が80%以上の高い評価の項目・・・2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,14,15,16,17,18,19,20,22,23,24
 A・B(とても思う・まあまあ思う)が60%以下の低い評価の項目・・・13(25をのぞく)
 保護者の回答と比べて、A・B(とても思う・まあまあ思う)と回答した児童の割合に15%以上の違いが見られた項目・・・3,4,5,8,9,13,14,17,18,20,21

保護者アンケートと児童アンケートの結果を比べると、以下のような結果となりました。児童でA(とても思う)・B(まあまあ思う)が80%以上の高い評価であった項目は、21項目にのぼり、学校生活を楽しみ、充実感を味わっている児童が多いことが分かりました。反対にA・Bの割合が少なかったのは「読書」の項目でした。

保護者の回答と比べてA・Bと回答した児童の割合に15%以上の違いが見られたのは、「挨拶」「読書」「粘り強い取組」「自主的な学習」等の11項目で、いずれも児童の回答の割合の方が高く、認識に違いがあることが分かりました。

「挨拶」については、「あいさつ運動」の期間にがんばったという意識が働いたこと、「読書」についても「しおりキャンペーン」で図書室の本を借りて読書に励んだという思いがあったことが、A・Bの回答につながるようになったとも言えます。しかし、それらは一時的な取組で常時活動でないため、今後は児童が自主的に活動したくなる継続的な働きかけが必要です。学校においても自ら学びたいようになるような授業改善に尽力していきます。

今後も児童がよりよい学校生活を送ることができるよう努めてまいりますので、引き続き本校の教育活動にご支援・ご協力をよろしくお願いたします。